

2019. 12. 17

畑 啓之

「60歳以上はペットを購入できない」は都市伝説か？ 老人こそペットが必要

最近「60歳以上の人には犬や猫を購入することができない」と聞いた。周囲の人に尋ねても、そのように言う人が多い。ペットが20年生きるとすると、そのペットに対する責任が取れないというのが理由のようだ。

ネット上にも次のように記されていった。

60歳以上はペットを購入できないのは本当でしょうか？ Yahoo 知恵袋 2014/4/22

https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q13127971268

高齢者（60代～）は新たにペットを購入する事について、ペット屋で購入を断られるのは本当ですか？

金儲け主義でない善意あるペットショップなら断ると思います。老人ではいつお迎えが来るかかもしれず、そうでなくとも散歩もままならない状態になりやすいからです。ですから良識ある飼い主は自分の年齢を考えてペット飼育をやめるものです。でも息子・娘家族と同居ならこの問題は生じません。

最近は犬や猫のペットをはじめ、多くのペットたち、そして野鳥に至るまでその生きる権利が強く守られている。犬や猫はもちろん、野鳥などを殺した場合にも法律で罰せられる可能性がある。昔のように雀を捕まえてきて自宅で飼うということもできないようだ。

ペットを飼うことができない老人たちは寂しいに違いない。一人住まいの老人は一日中誰とも話すことなく過ごしていることが多い。老人向けの会話ロボットも開発され販売されているが、余りに従順なロボットではかえって刺激がない。犬のようにたまにはいうことをきかない、あるいは猫のようにその気分により人間を手玉に取る、そのような「思い通りにならないペット」が老人に刺激と生きがいを与えるのではないかと思っている。

さらに近頃では「猫は屋内で飼いましょう」との掛け声が強く、田舎でも猫の歩く姿を見ることは少なくなったような気がする。まことに不思議な時代となったものだ。